

歴史民俗資料館及びふれあいルーム 内部評価結果 (施設所管課による評価)

【評価対象施設】 歴史民俗資料館・ふれあいルーム

【指定管理者名】 株式会社 アステム

【評価対象年度】 令和2年度

【施設所管課名】 産業・文化部 生涯学習課

業務内容についての評価

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大により、施設の臨時休館・開館時間の短縮や、来館者の入場制限、多目的室の定員縮小などが行われ、来館者数については歴史民俗資料館・多目的室ともに1万人近く減少し、大変厳しい一年となりました。

歴史民俗資料館においては、緊急事態宣言に伴う臨時休館のため、春季展が中止となりましたが、3回の企画展とそれに伴う講演会や見学会等を開催したほか、市民学芸員活動や、他施設との連携事業、小学校の団体見学等にも対応されました。夏季展では、「切る」機能を持った道具類を展示し、多数のメディアで紹介されました。秋季展では、生涯学習課と共催で市指定文化財「専応寺 聖徳太子像」の調査成果を展示し、分散開催で実施した現地見学会・講演会は参加者から好評をいただくことができました。また、臨時休館中には、公民館との共催でオンライン動画の配信を行ったり、ホームページ上で子ども向けコンテンツの公開を行ったりするなど、オンラインを活用した新しい事業にも取り組まれました。

今後も、生涯学習課や様々な団体と連携しながら、幅広い世代の市民に満足いただける良質な展示や講座を企画・実施するとともに、企画展や展示資料等を紹介した動画を配信するなど、「新しい生活様式」に対応した魅力発信についても積極的に取り組まれることを期待します。

ふれあいルームにおいては、図書館や公民館との共催事業のほか、子ども向けのミニチュア粘土教室や認知症予防講座や太極拳等の市民の健康増進事業等を実施され、いずれも参加者から高評価を得ることができました。今後も利用者のニーズを的確に把握し、幅広い世代を対象にした体験事業や講座等に取り組まれることを期待します。

施設維持保全業務や施設修繕については、仕様書にもとづき適正に実施されていきました。建物の老朽化が進行しているため、日常的な点検により、迅速な復旧修繕と修繕必要箇所の把握に努めてください。

利用者満足度について評価

利用者アンケートでは、来館者対応や施設の案内表示、事業内容等について全体的に高評価を得ています。一方で、歴史民俗資料館の事業や多目的室の有料貸出については依然として認知度が低い状況です。

今後もリピーターに満足していただけるような質の高い展示や講座等を実施するとともに、館内掲示の強化やオンラインによる魅力発信等を通じて、施設の認知度の向上と新規利用者の増加に努めてください。

収支状況について評価

新型コロナウイルス感染症拡大に伴う臨時休館や開館時間の短縮、事業内容の見直し等により、利用料や事業収入が減少するなど、厳しい運営を強いられましたが、光熱費の削減や人件費の抑制等の努力を行ったこともあり、市からの補填料を含めると、黒字を実現することができました。

令和3年度も、万全な感染症対策を講じながら、創意工夫による利用者の増加と収支のさらなる改善に努めてください。

総合評価

本市の文化・歴史に対する市民の誇りを醸成し、次世代に継承していくうえで、歴史民俗資料館の役割はきわめて重要です。令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、事業運営に大きな制約が課されましたが、指定管理者がこれまで蓄積してきたノウハウを活かし、市民学芸員活動や他施設との連携事業を実施されたほか、オンラインを活用した新たな事業にも取り組まれたことを評価します。

今後、飯盛城跡が国史跡に指定されると、市内外から多くの来館者の増加が見込まれることから、常設展示のリニューアルや情報発信の強化により、リピーターだけでなく新規来館者にも満足していただけるよう努めてください。

また、ふれあいルームでは、創意工夫による自主事業を行った結果、参加者から高評価を得ることができました。今後も、生涯学習に対する市民のニーズの把握に努め、幅広い世代に満足していただける魅力的な事業を展開されることを期待します。